

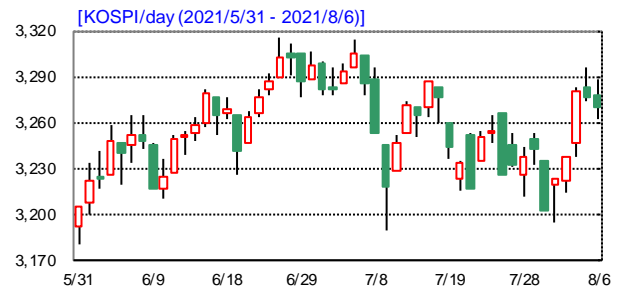


## 【韓国】 総合指数は週間で2.1%高と3週ぶりに反発、今週も上値の重い展開か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.1%高と3週ぶりに反発。1日に発表された韓国の7月の輸出が前年同月比29.6%増の554億3000万米ドルと1956年の統計開始以来、過去最高を記録するなど好調で、半導体株が買われて相場の上げを主導した。週初の2日から3日続伸。4日終値は7月15日以来、約3週ぶりの高値を付けた。ただ、新型コロナウイルスの1日当たりの国内新規感染者数が過去最高水準で推移していることが嫌気され、5-6日に続落して週の上げ幅を縮めた。個別では、インターネット専業のカカオ銀行が6日に上場を果たし、時価総額で韓国最大の金融サービス会社に躍り出た。国内の新規感染者数が高止まりしていることもあり、今週は上値の重い展開か。経済指標関連では11日に7月の失業率が発表される予定。

▼指数チャート

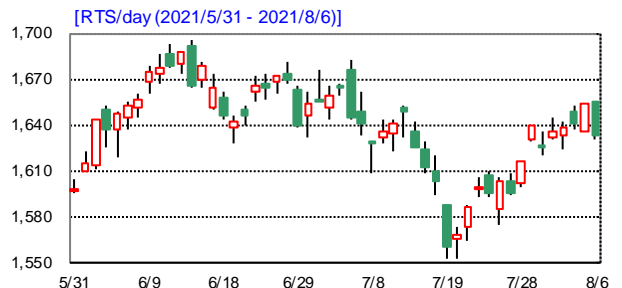


## 【ロシア】 RTS 指数は週間で0.4%高と続伸、今週は原油相場と海外株が焦点か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で0.4%高と続伸。原油相場が下落したものの、海外株高を追い風に堅調に推移した。アジア・欧州株の上昇を背景に週初の2日に反発すると、原油相場の下落が続く中、指数は5日まで4日続伸。長期金利の上昇を受けて時価総額最大のズベルバンク・オブ・ロシアが大幅高となり、指数を押し上げた。5日終値は約1カ月ぶりの高値水準。6日はルーブル安が重しとなって反落し、週の上げ幅を縮めている。ブレント原油相場は週間で7.4%下落し、ルーブルは対米ドルで0.6%下落した。個別では、ダイヤモンド採鉱のアロサが6.2%高、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが4.4%高となった一方、産金のポリュスが2.3%、鉄鋼のセヴェルスタールが2.2%下落した。今週は原油相場や海外株が焦点か。

▼指数チャート

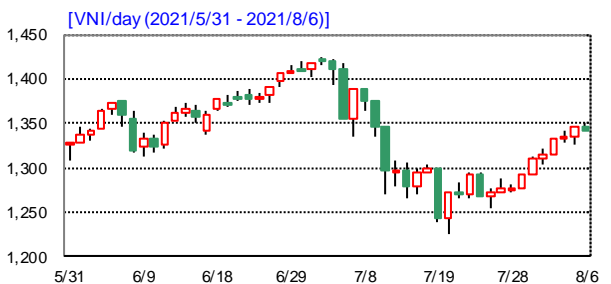


## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で2.4%高と続伸、今週も先高観を背景に堅調か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は2.4%高と続伸。金融、不動産株を中心に海外勢の買いが続き、VN 指数は7月26日から5日まで9営業日続伸した。週明け2日は海外勢の買いが続き、指数は前週末比0.3%高。3日は金融株や不動産株を中心に買いの勢いが強まり、指数は1.4%高と大幅に続伸した。その後も5日まで上昇が続き、6日には場中に1351.85ポイントと7月9日以来の高値をつけたが、結局、10営業日ぶりに反落して引けている。個別では複合企業のビンググループが5.7%高、不動産のビンホームズが5.2%高、ノー・バー・ランド・インベストメント・グループが3.4%高、ベトナム投資開発銀行が4.4%高となったほか、エネルギーのペトロベトナム・ガスが3.1%高と上昇し、指数を押し上げた。今週も先高観を背景に堅調か。

▼指数チャート

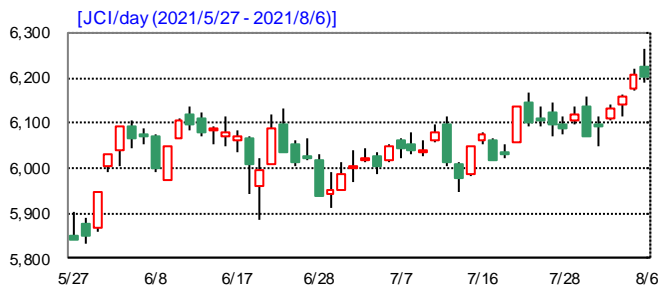


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.2%高、4-6 月期の GDP が 5 四半期ぶりにプラス回復**

ジャカルタ総合指数は週間で 2.2%高と反発。週初からじりじりと上値を広げた。2 日は前週に急落した中国株が上昇した流れで反発すると、3 日は 4-6 月期の GDP の発表を 5 日に控え、成長率に対する楽観的な見方が広がったほか、保健省高官が新型コロナの感染がピークを越えたとの見解を示した効果で続伸。5 日は GDP 成長率が前年同期比 7.1%と 5 四半期ぶりにプラスに転じたことが好感され、指数は終値で約 4 カ月半ぶりに 6200 ポイント台に乗せた。ただ、6 日は小幅反落して取引を終えている。今週は国内の経済イベントが少なく、外部要因に左右される展開か。11 日はイスラム暦新年の祝日で休場。

### ▼指数チャート

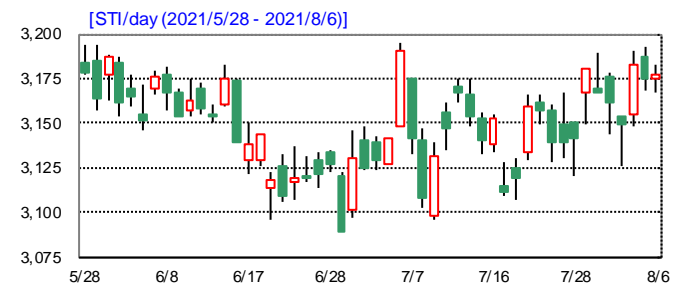


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.3%高、銀行大手の決算内容を好感**

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.3%高と 6 週続伸。銀行株の上昇が指数を支えた。週初の 2 日は前週末に NY ダウが下落した流れで続落。3 日は前日の取引終了後に発表された 7 月の製造業 PMI が 51.0 と 18 年 12 月以来の高水準に到達したものの、デルタ株の世界的な感染拡大が売り材料となり、下落した。一方、4 日はオーバーシー・チャイニーズ銀行とユニテッド・オーバーシーズ銀行の好決算を受けて金融株を中心に買い戻され、指数は前日比 1.1%高と 4 日ぶりに反発。週後半は狭いレンジでの値動きとなった。今週は 11 日に 4-6 月期の GDP 確定値が発表される予定。9 日は独立記念日のため休場。

### ▼指数チャート

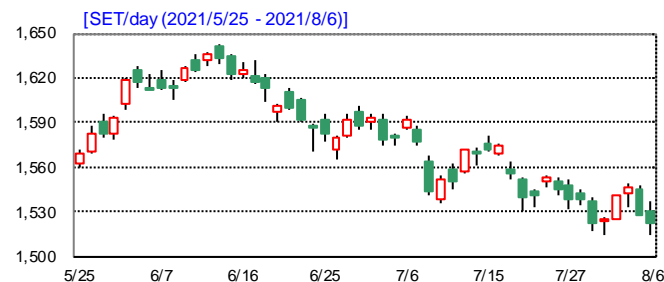


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.01%安、今週はタイ石油公社とタイ空港公社の決算に注目**

SET 指数は週間で 0.01%安とほぼ横ばい。週半ばまでは堅調だった。週初の 2 日に反発すると、3 日は金融株が買われ、指数は前日比 1.0%高と続伸。4 日は中央銀行が今年の経済成長率見通しを 6 月時点での 1.8%から 0.7%に下方修正したものの影響は軽微で、買い優勢の展開が続いた。一方、5 日は新型コロナの新規感染者数が過去最多となったことが嫌気され、前日比 1.2%安と 4 日ぶりに反落すると、6 日は 7 月の消費者信頼感指数が 40.9 と過去最低水準に落ち込んだ影響で続落した。今週はタイ石油公社 (PTT) やタイ空港公社などの 4-6 月期の決算が焦点。12 日は母の日 (大后誕生日) の祝日で休場となる。

### ▼指数チャート

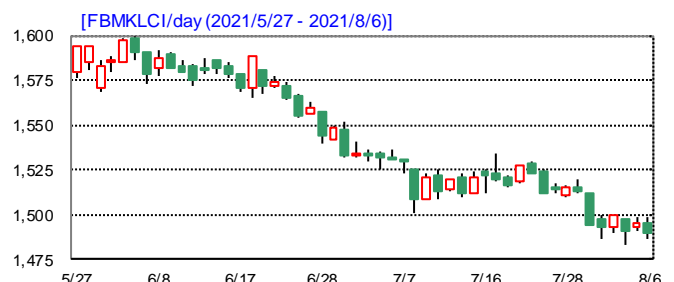


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.3%安、今週は 4-6 月期の GDP に期待**

クアラルンプール総合指数は週間で 0.3%安と続落。国内の経済イベントが少ない中、一進一退の値動きが続いた。週初の 2 日は、終値で 1500 ポイントを割り込んだ前週末から下げ止まらず、3 営業日続落。3 日は引け際の買いが奏功し、この水準を回復したが、4 日はムヒディン首相に辞任を求める動きが強まるなど、政局の先行きに対する不透明感の広がりが売り材料視されて反落した。週後半もさえない値動きが続き、6 日は終値で約 9 カ月ぶりの安値を更新して引けている。今週は 9 日の 6 月の鉱工業生産に続き、13 日には 4-6 月期の GDP が発表される予定。10 日はイスラム暦新年の祝日で休場となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。